

## (5) 関連図表

### ○ 指標による現状把握

指 標		実 績	
指標の項目	時点	静岡県	出典元
災害拠点病院指定数	<a href="#">2021.4</a>	<a href="#">23 施設</a>	災害拠点病院現況調査
病院機能を維持するために必要な全ての建物が耐震化された災害拠点病院の割合	<a href="#">2021.4</a>	<a href="#">23/23 施設 (100%)</a>	災害拠点病院現況調査
通常時の6割程度の発電容量のある自家発電機等を保有し、3日分程度の燃料を確保済の災害拠点病院の割合	<a href="#">2021.4</a>	<a href="#">22/23 施設 (95.7%)</a>	厚生労働省「災害拠点病院の現況調査」
衛星電話を設置している災害拠点病院及び救護病院の割合	<a href="#">2020.4</a>	<a href="#">71/87 施設 (81.6%)</a>	市町医療救護体制調査
病院の敷地内で患者が利用する全ての建物が耐震化された救護病院の割合	<a href="#">2020.9</a>	<a href="#">80/85 施設 (94.1%)</a>	病院の耐震改修状況調査
<a href="#">災害医療コーディネーター任命者数</a>	<a href="#">2021.4</a>	<a href="#">47 人</a>	<a href="#">県委嘱</a>
<a href="#">災害時小児周産期リエゾン任命者数</a>	<a href="#">2021.4</a>	<a href="#">16 人</a>	<a href="#">周産期医療・小児医療に再掲</a>
<a href="#">原子力災害拠点病院指定数</a>	<a href="#">2021.4</a>	<a href="#">2 施設</a>	<a href="#">県指定</a>
<a href="#">原子力災害医療協力機関登録数</a>	<a href="#">2021.4</a>	<a href="#">8 施設</a>	<a href="#">県登録</a>

### ○ 静岡県第4次地震被害想定

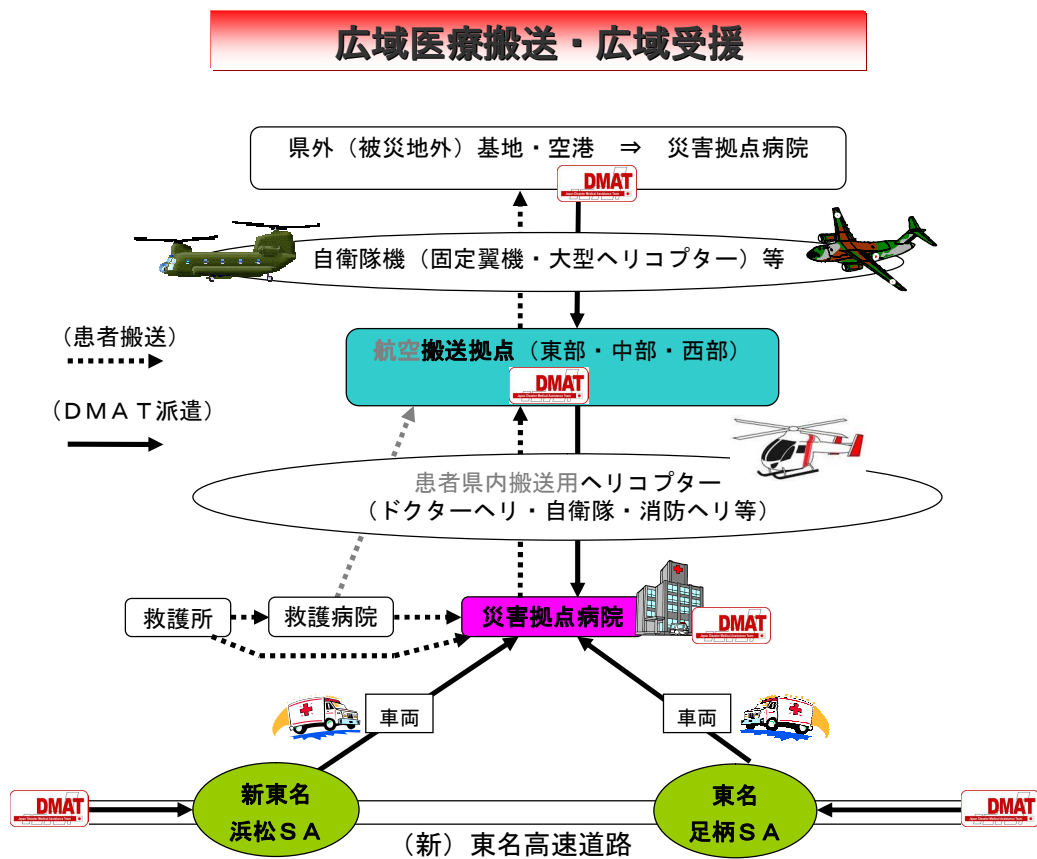
区分	内容	死者及び傷病者数
レベル1	東海地震のように、発生頻度が比較的高く、発生すれば大きな被害をもたらす地震・津波	<ul style="list-style-type: none"> <li>・死者数 約 16,000 人</li> <li>・重傷者数 約 20,000 人</li> <li>・軽症者数 約 51,000 人</li> </ul> <予知なし・冬・深夜ケース>
レベル2	南海トラフ巨大地震のように、発生頻度は極めて低いが、発生すれば甚大な被害をもたらす、最大クラスの地震・津波	<ul style="list-style-type: none"> <li>・死者数 約 105,000 人</li> <li>・重傷者数 約 24,000 人</li> <li>・軽症者数 約 50,000 人</li> </ul> <陸側(予知なし・冬・深夜) ケース>

※死者及び傷病者数は最大被害想定

○ 圏域別医療救護施設指定状況等（2021年2月時点）

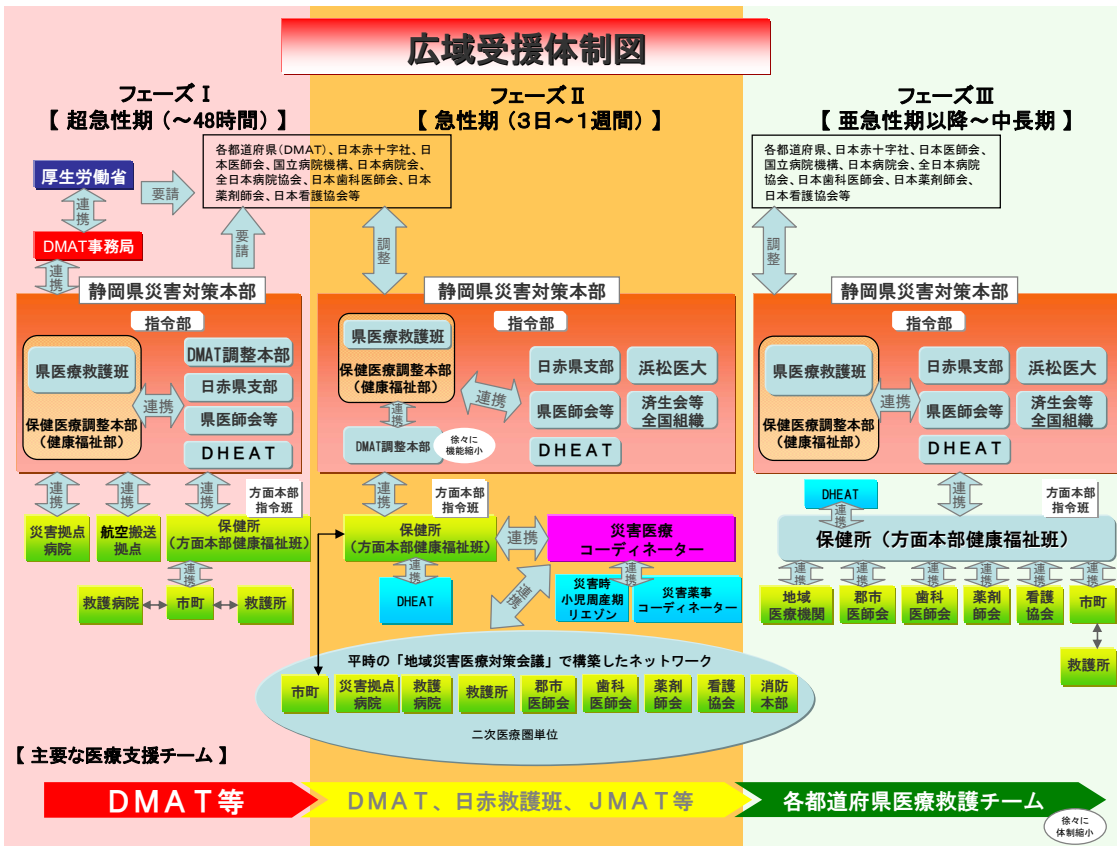
2次保健 医療圏	救護所 (市町指定)	救護病院 (市町指定)	災害拠点病院 (県指定)	災害拠点 精神科病院 (県指定)	航空搬送拠点	医療救護チーム	
						DMAT	DPAT
賀茂	16	5	0	0	愛鷹 広域公園	0	0
熱海伊東	15	4	2	0		2	0
駿東田方	64	25	4	1		9	3
富士	25	11	2	0		6	1
静岡	60	10	5	1	静岡空港	15	8
志太榛原	32	7	3	0		9	0
中東遠	37	6	2	0	航空自衛隊	5	3
西部	76	17	5	2	浜松基地	15	8
全県	325	85	23	4	3	61	23

○ 広域医療搬送体制図



(出典：静岡県医療救護計画)

○ 広域受援体制図

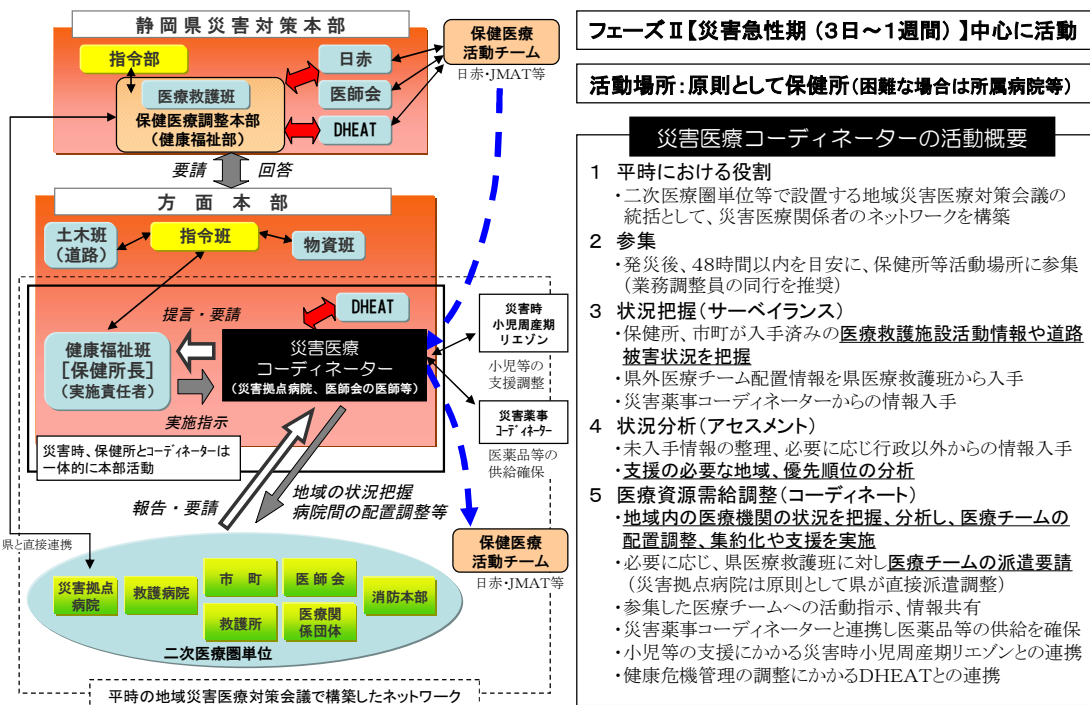


(出典：静岡県医療救護計画)

○ 災害時における災害医療コーディネーターの役割

**災害時（3日～1週間）における災害医療コーディネーターの役割**

◎平時に構築したネットワークを活用し、災害時(3日～1週間)の医療資源需給調整に関する保健所長業務を補完



(出典：静岡県医療救護計画)